

令和4年度

# 奈良市立看護専門学校

## 一般入学試験問題

### 国語

試験時間 50 分（問題 1～17）

#### 注意事項

1. 試験開始の指示があるまで問題を開いてはいけません。
2. 机の上には、受験票、筆記用具以外のものを出してはいけません。
3. 係員の指示に従って、**下欄及び解答用紙に受験番号と氏名を正しく記入**し、解答用紙の受験番号欄をマークしてください。
4. 解答方法：選択肢(1～5)から**正解を一つ選び**、解答用紙の解答欄の該当番号をマークしてください。二つ以上マークした場合には誤りとなります。
5. マークは解答用紙の「マークの方法」の「良い例」のように濃く、はっきりと塗りつぶしてください。「悪い例」では採点されない場合があります。
6. 試験中に問題の印刷不鮮明等に気付いた場合は、手を挙げて係員に知らせてください。なお、問題の内容に関する質問にはお答えできません。
7. 問題の余白はメモ等に使用して構いません。
8. この問題冊子は回収します。持ち帰らないでください。

受験番号

--	--	--

氏名

--

第1問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

読書は一種の技術である。すべての技術には一般的規則があり、これを知っていることが肝要である。読書法についても古来いろいろ書かれてきた。しかし技術は一般的理論の単なる応用に過ぎぬものではない。技術においては一般的理論が主体化されねばならず、主体化されるということは個別化されるということである。これがその技術を身につけることであって、身につけていない技術は技術とすることができぬ。読書にとって習慣が重要であるというのも、読書が技術であることを意味している。技術は習慣的になることによって身につくのであり、習慣的になっていない技術は技術の意義を有しないであろう。そのことはもとより読書にとって一般的規則が存在しないことを意味するのではない、もし何等の一般的規則も存在しないとすれば、それが技術であることもできぬ筈である。㉑

(ア) 一般的規則の主体化を要求する点において、すでに手工業的技術は工場的生産の技術よりも遙かに大きいものがあるであろう。まして読書の如き精神的技術にあつては、一般的規則が各人の気質に従って個別化されることがいよいよ必要になってくる。めいめいの気質を離れて読書の技術はないと言っても好いほどである。読書法は各人において性格的なものである。それ故に各人にとって自分に適した読書法を發明することが最も大切である。読書の技術においてひとはめいめい発明的でなければならぬ。もちろんこの場合においても發明の基礎には一般的規則がある。しかし自分の気質に適した読書法を自分で發明することに成功しない者は、永く、楽しく、また有益に読書することはできないであろう。㉒

ところでかように自分自身の読書法を見出すためには先ず多く読まなければならぬ。多読は濫読と同じでないが、濫読は明かに多読の一つであり、そして多読は濫読から始まるのが普通である。古来読書の法について書いた人は殆どすべて濫読を戒めている。㉓ それは、疑いもなく真理である。けれどもそれは、ちょうど老人が自分の過去のあやまちを振り返りながら後に来る者が再び同じあやまちをしないようにと青年に対して与える教訓に似ている。かような教訓には善い意志と正しい知恵とが含まれているであろう。しかしながら (イ) 老人の教訓を忠実に守るに止まるような青年は、進歩的な、独創的なところの乏しい青年である。昔から同じ教訓が絶えず繰り返されてきたにも拘らず、人類は絶えず同じ誤謬を繰り返しているのである。例えば、恋愛の危険については古来幾度となく諭されている。けれども青年はつねにかように危険な恋愛に身を委ねることをやめないのであつて、そのために身を滅す者も絶えないではないか。あやまちを為すことを恐れている者は何も掴むことができぬ。人生は冒険である。㉔ 恥ずべきことは、誤謬を犯すということよりもむしろ自分の犯した誤謬から何物をも学び取ることができないということである。努力する限りひとはあやまつ。誤謬は人生にとって飛躍的な発展の契機ともなうことができる。それ故に神もしくは自然は、老人の経験に基づく多くの確かに有益な教訓が存するにも拘らず、青年が自分自身でつねに再び新たに始めるように仕組んでいるのである。だからといって、もちろん、先に行く者の与える教訓が後に来る者にとって決して無意味であるというのではない。そこに人生の不思議と面白さとがあるのである。読書における濫読も同様の関係にある。濫読を戒めるのは大切なことである。(ウ) ひとは濫読の危険を通じて自分の気質に適した読書法に達することができる。一冊の本を精読せよと言われても、特に自分に必要な一冊が果たして何であるかは、多く読んでみなくては分らないではないか。古典を読めと言われても、すでにその古典が東西古今にわたって数多く存在し、しかも新しいものを知っていなくては古典の新しい意味を発見することも不可能であろう。㉕ 読書は先ず濫読から始まるのが普通であ

る。しかしいつまでも濫読のうちに止まっていることは好くない。真の読書家は殆どみな濫読から始めている、しかし濫読から抜け出すことのできない者は真の読書家になることができぬ。

(エ) 濫読はそれから脱却するための濫読であることによって意味を有するのである。

濫読に止まるなどということは多読してはならぬということではない。多読家でないような読書家があるであろうか。むしろ読書家とは多読家の別名である。<sup>ことわざ</sup>諺に、賢者は(オ) ただ一冊の本の人間を恐れる、という。ひとは多く読まなければならぬ。読書の必要はただ一冊の本の人間にならないために、言い換えれば、一面的な人間にならないために、存在するのである。単に自分自身の時代のみでなく、また過ぎ去った時代について、単に、自分自身の国のみでなく、また世界<sup>すなわ</sup>について、全体の生活と思想について正しい見通しを得るために、多く読まなければならぬ。即ち読書において一般的教養を心掛けることが大切である。読書家とは一般的教養のために読書する人のことである。単に自分の専門に関してのみ読書する人は読書家とはいわれぬ。教養とはある専門の知識を所有することをいうのではなく、<sup>かえ</sup>却って、教養とはつねに一般的教養を意味している。専門家になるために読書の必要のあることは言うまでもないが、ひとは特に一般的教養のために読書しなければならぬ。そして専門家も一般的教養を有することによって自分の専門が学問の全体の世界において、また社会及び人生にとって、如何なる地位を占め、如何なる意義を有するかに就いて正しい認識を得ることができるのである。専門家も人間としての教養を備え専門家の一面性の弊に陥らないように読書は勧められるのである。そのうえ自分の専門以外の書物から専門家が自己の専門に有益な種々の示唆を与えられる場合も少なくないであろう。(カ) かくして多読は濫読の意味においては避くべきことであるとしても博読の意味においては必要であると言わねばならぬ。 (三木清「如何に読書すべきか」による)

問題 1 次の文は本文の一部である。最も適当な挿入場所はどこか。文中の(A)~(E)のうちから一つ選択せよ。

多くの本を<sup>みだ</sup>濫りに読むことをしないで、一冊の本を繰り返して読むようにしなければならぬと教えている。

- 1 (A)                      2 (B)                      3 (C)                      4 (D)                      5 (E)

問題 2 下線部(ア)「一般的規則の主体化を要求する点において、すでに手工業的技術は工場の生産の技術よりも遙かに大きいものがあるであろう。」とあるが、筆者がそう考える理由として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 手工業では、労働者の熟練度によって商品の質に大きな差があるため。
- 2 手工業では、失敗から何かを学び取ることが大切であるため。
- 3 手工業では、より高いコミュニケーション能力が求められるため。
- 4 手工業では、労働者自身が技術を同化している必要があるため。
- 5 手工業は、受注生産体制が小規模であることが多いため。

問題3 下線部(イ)「老人の教訓を忠実に守るに止まるような青年は、進歩的な、独創的なところの乏しい青年である。」とあるが、これは作者のどのような考えを表現したものか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 濫読しなければ様々な思想や学問に触れることはできず、視野を広げることができない。
- 2 人は誰しもあやまちを犯すので、かたっぱしから本を読んで教訓を得ても意味がない。
- 3 世間では良書とされている本でも、自分の役に立つかどうかはわからない。
- 4 昔の人の読書法を真似することは、昔の人の保守的な性格を受け継ぐことに等しい。
- 5 濫読による失敗を避けていては、自分にとって必要な書物や適した読書法は見つからない。

問題4 空所(ウ)に当てはまる最も適当な語句を一つ選択せよ。

- 1 ゆえに
- 2 しかし
- 3 さらに
- 4 または
- 5 それどころか

問題5 下線部(エ)「濫読はそれから脱却するための濫読」とあるが、濫読から脱却した状態とはどのような状態か。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 自分の気質に従った読書の技術を発明することに成功している状態。
- 2 あやまちを犯すことを恐れず、果敢に挑戦することを目指している状態。
- 3 先人の教訓や古典から、新しい意味を発見して理解した状態。
- 4 一般的規則から逸脱し、理論によらずに独自の読書法を確立した状態。
- 5 手当たり次第に本を読むことをやめ、今まで読んだ本について吟味している状態。

問題6 下線部(オ)は本文中でどのような意味で用いられているか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 裏表や他意のない人間
- 2 本を繰り返して読むような人間
- 3 濫読したまま内省しない人間
- 4 ものの考え方がかたよっている人間
- 5 失敗を恐れて危険を回避する人間

問題7 下線部(カ)「かくして多読は濫読の意味においては避くべきことであるとしても博読の意味においては必要であると言わねばならぬ。」とあるが、濫読と博読に対する筆者の考えとして、最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 濫読は専門外の分野を幅広く学ぶ方法であり、博読は専門分野を深く学ぶ方法である。
- 2 濫読も博読も多読の一種であり、視野を広くもつ目的があるという点も共通している。
- 3 濫読は戒めるべきものであるが、博読は称賛されるべきものである。
- 4 濫読も博読も多く読むという点は似ているが、博読は濫読とは反対に、昔から薦められてきた。
- 5 濫読は有益な読書への足掛かりとなるものであり、博読は多面的理解を得るためのものである。

問題 8 本文の内容と合致する記述として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 自分の専門以外の書物は、自分の専門の理解には無用だが、知識人としては必要である。
- 2 濫読してこそ学びを得ることもあるので、精読しようとするのは間違っている。
- 3 自分に適した読書法を考え出すことができなければ、役に立つ読書をすることはできない。
- 4 読書家になるためには、狭い分野から良い本を厳選して深く読むことが重要である。
- 5 誤謬は人生において大きな失敗や挫折につながるため、注意して避ける必要がある。

第 2 問 次の各問いに答えよ。

問題 9 下線部の漢字の読み方が正しいものを一つずつ選択せよ。

- (1) 1 彼女は褐色（かっしき）の肌をしている。  
2 兄は一言居士（きょし）な性格だ。  
3 棧敷（せんじき）で相撲を観戦する。  
4 法要で僧侶が読経（どきょう）をする。  
5 海岸線に沿（つきそ）って歩く。
- (2) 1 平安京に遷都（けんと）する。  
2 彼は来年厄年（やくどし）を迎える。  
3 小豆（おまめ）を煮て食べる。  
4 その武将は実権を掌中（しゅちゅう）に収めた。  
5 弱者を虐（あら）げてはいけない。
- (3) 1 その生徒は奨励（しょうれい）賞を受け取った。  
2 鉱物を採掘（くっさく）する。  
3 その画家は無二（むじ）の作品を作り上げた。  
4 彼の提案は周囲から頑強（けんきょう）な反対を受けた。  
5 彼女は友人たちと新しい会社を興（もよお）した。

問題 10 下線部の漢字が正しいものを一つずつ選択せよ。

- (1) 1 天皇が法律案を裁可する。  
2 彼は事実を紛飾して伝えた。  
3 新しい貨幣が流通する。  
4 容疑者の共述は事実と矛盾していた。  
5 制限時間を長過すると料金が発生する。

- (2) 1 この学校の生徒は多くの合格実績を挙げた。  
 2 不況により中小企業の到産が相次いでいる。  
 3 時間がないので詳細を割愛する。  
 4 他国から度重なる進略を受ける。  
 5 祖母は洋裁を趣味にしている。
- (3) 1 彼は日本人初の異業を成し遂げた。  
 2 タイタニック号は氷山に衝突して鎮没した。  
 3 社長の鋭断は多くの社員に賞賛された。  
 4 その選手のスコアは世界記録に肉博した。  
 5 問題の穩便な解決を図る。
- (4) 1 誘拐された児童が無事に保護された。  
 2 彼女は優賀なスケートを披露した。  
 3 書類に階書で記入する。  
 4 山の頂上に倒達する。  
 5 洪水により堤防が決壊する。

問題 11 次の下線部と同じ漢字を使うものを一つずつ選択せよ。

- (1) 優勝トロフィーが返カンされる。  
 1 教室をこまめにカン気する。  
 2 打ち上げのカン事を担当する。  
 3 払いすぎた税金をカン付する。  
 4 サークルのカン誘を受ける。  
 5 遺留品のDNAカン定を行う。
- (2) 過去の過ちをシャ罪する。  
 1 大雨により土シャが崩れた。  
 2 弁護士にシャ礼を支払う。  
 3 風景を丁寧に描シャする。  
 4 直シャ日光を避けて食品を保存する。  
 5 自転車で急なシャ面を上る。
- (3) ダン効裁判により裁判官が罷免される。  
 1 拳銃にダン丸をこめる。  
 2 緊急時に非常階ダンを利用する。  
 3 担任に悩みを相ダンする。  
 4 毎日花ダンに水やりをする。  
 5 周囲の状況を見ながら判ダンする。

問題 12 次のうち「律儀」の同意語として正しいものを一つ選択せよ。

- 1 親切                      2 義務                      3 礼儀                      4 実直                      5 忠告

問題 13 次のうち「挫折」の反意語として正しいものを一つ選択せよ。

- 1 失墜      2 婉曲<sup>えんきよく</sup>      3 転落      4 貫徹      5 阻止

問題 14 次の語句の意味として正しいものを一つずつ選択せよ。

(1) モラル・ハザード

- 1 同時には成立しない二律背反の関係。
- 2 責任感や倫理性の欠けた状態。
- 3 データなどの規模の拡大に対応できること。
- 4 組織などの内部にいる人。
- 5 万一の事態に備える，社会的な措置や仕組み。

(2) 焼きが回る。

- 1 細かなところまで察して，それに応じた処置ができる。
- 2 度胸があり，めったなことではびくついたり驚いたりしない。
- 3 言動などが嫌味に感じられ，我慢できないほど不快である。
- 4 自分には関係がないというように，知らぬ顔をする。
- 5 年を取ったりして，勢いや能力が衰えて鈍くなる。

(3) 有終の美を飾る。

- 1 立身出世をして故郷に帰る。
- 2 ある事柄が，不安や好ましくない影響などをもたらす。
- 3 物事を最後までやり遂げて，立派な結果を残す。
- 4 ある一つの芸能や技能に，特に優れている。
- 5 優れた人やよい物が集まっている。

(4) 同床異夢

- 1 行動をともにしながら意見や考え方を異にしていること。
- 2 結果のよしあしにかかわらず行動や運命を共にすること。
- 3 大勢の人が口をそろえて同じ意見を言うこと。
- 4 人の世の栄華，人生のはかないことのたとえ。
- 5 見かけは異なっているように見えて，中身はほとんど同じであること。

(5) 出处進退

- 1 互いに助け合ってともに生存し，ともに繁栄すること。
- 2 今の役職や地位にとどまるか辞職するか，態度をはっきりすること。
- 3 その人の能力や才能，資質などを考慮して，適した部署や任務に配すること。
- 4 威勢のいいことを言うが，実行が伴わないこと。
- 5 他の事に心を動かされず，ひたすら一つの事に気持ちを集中させること。

問題 15 次の意味を表す言葉として正しいものを一つずつ選択せよ。

(1) 企業などが社会規範に反することなく，業務遂行すること。

- 1 イニシアチブ      2 マネジメント      3 コンプライアンス  
4 プロジェクト      5 バックアップ

(2) 互いに心の底まで打ち明け合い、親しく付き合う。

- |                             |          |        |
|-----------------------------|----------|--------|
| 1 勿怪 <small>もっけ</small> の幸い | 2 様になる   | 3 一目置く |
| 4 懐が暖かい                     | 5 肝胆相照らす |        |

(3) 悪人の仲間などを一度にすべて捕らえること。

- |        |        |        |
|--------|--------|--------|
| 1 悪戦苦闘 | 2 一騎当千 | 3 勧善懲悪 |
| 4 一網打尽 | 5 一罰百戒 |        |

問題 16 下線部の言葉の使い方が正しいものを一つ選択せよ。

- 1 その風景は目から鱗が落ちるような美しさだ。
- 2 彼が犯人かもしれない、という疑念が頭をもたげた。
- 3 気が置けない雰囲気に緊張した。
- 4 彼らは、暇に任せて町中を遊び回っている。
- 5 彼女は誰に対しても腰が低く、生意気だ。

問題 17 次の記述に当てはまる人物として正しいものを一つ選択せよ。

東京生まれの小説家、また劇作家で、20 世紀西欧文学の文体と方法に学んで、秩序と神話を志向、純粹日本原理を模索した。作品に「仮面の告白」「金閣寺」「ほうじょう豊饒の海」などがある。

- |         |                           |                           |
|---------|---------------------------|---------------------------|
| 1 小林秀雄  | 2 安部公房                    | 3 <small>おうがい</small> 森鷗外 |
| 4 三島由紀夫 | 5 <small>あつし</small> 中島 敦 |                           |

以 上